

# 小木の子 われら

校 区 内  
全 戸 回 覧

令和5年8月25日発行

## 全国学力・学習状況調査（6年生）の結果について

校 長 高 橋 高 志

4月18日（火）に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。

右の表のように、国語は全国平均を少し上回り、算数はやや下回りました。2教科を総合するとほぼ全国平均並みとなります。

| 教科別          | 教科    | 国語   | 算数   |
|--------------|-------|------|------|
| 平均正答率<br>[%] | 小木小平均 | 70   | 56   |
|              | 県平均   | 67   | 62   |
|              | 全国平均  | 67.2 | 62.5 |

学習指導要領の内容別に見ると、国語では、昨年度課題として挙げた「話すこと・聞くこと」の力が高まっています。特に、「話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめること」に優れています。これは、国語の指導だけでなく、総合的な学習の時間にたくさん地域の方からゲストティーチャーとしてお話しいただき、対話しながら学ばせていただいたおかげです。深く感謝申し上げます。その一方で、「示された条件に沿って書くこと」には課題が見られます。今後は、新聞なども活用し、複数の資料をもとに自分の考えを記述する活動を授業に取り入れていきます。

算数では、「変化と関係」「データの活用」の領域は全国平均並みでしたが、「数と計算」「図形」の領域に課題が見られます。今後は、式・計算の意味や図形の性質を理解し、それを活かして問題を解く、実際に図形を折ったり回転させたりする操作活動を取り入れるなど、楽しく学ぶ中で課題を克服できるよう更に授業改善に取り組んでいきます。

学習状況についての児童質問紙では、「毎朝決まった時刻に起きる」等の生活リズムや「友達関係の満足度」「将来の夢や目標をもつ」といった面ではよさが見られます。一方で、「家で毎日1時間以上学習すること」や「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むこと」「分からないことを友達や先生に聞くこと」には課題が見られます。

これらの学力や学習状況の傾向は、学年を問わず、学校全体の課題と考えています。今回の調査結果を受け、学校では、今後より一層、主体的な学びを意識した授業を展開していきます。ご家庭におかれましても、お子さんの家庭学習の習慣化を意識したお声がけをいただきますようお願いいたします。